

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

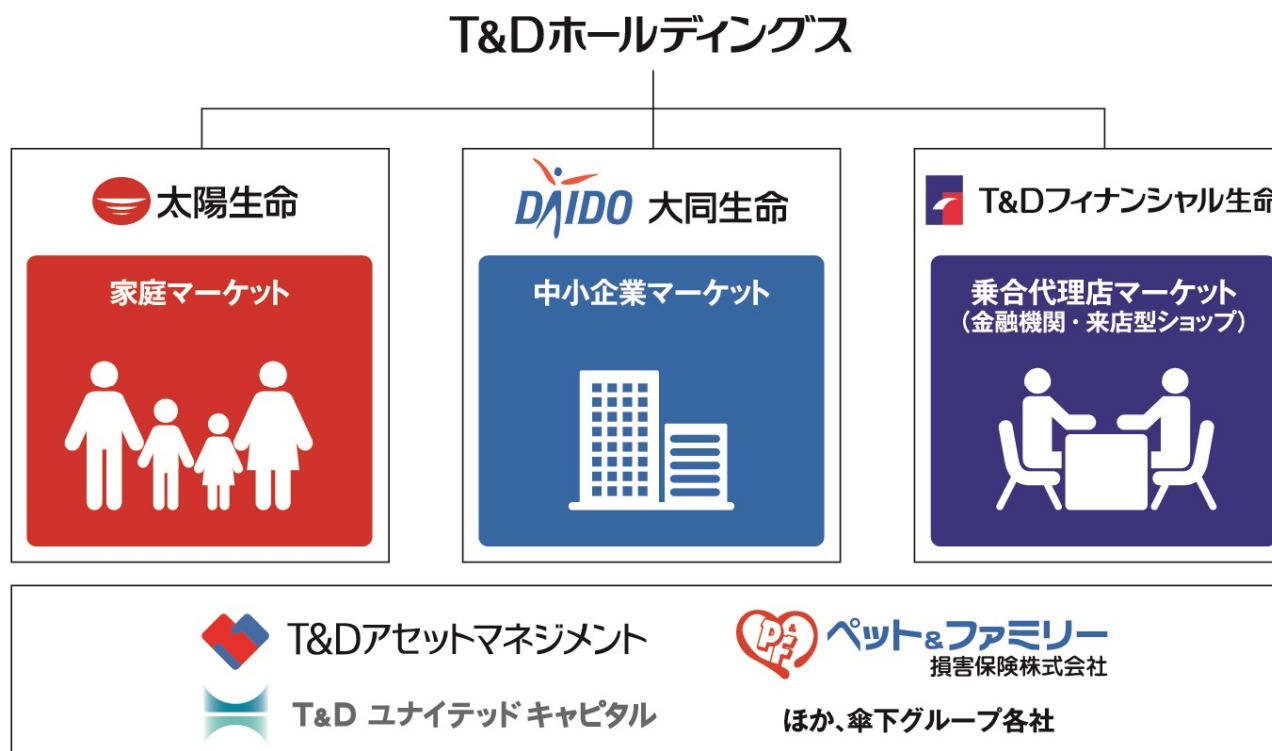
T&D

T&D保険グループ 2022年3月期第3四半期決算のお知らせ

2022年2月14日

株式会社 T&Dホールディングス

グループストラクチャー



T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の中核生保3社のほか、資産運用関連事業を担うT&Dアセットマネジメントやペット保険を取扱うペット&ファミリー損害保険、グループの事業ポートフォリオ多様化を主に担うT&Dユナイテッドキャピタル等のグループ会社があります。

<本資料における計数の定義>

連結	: T&Dホールディングス(連結)
3社合算	: 生命保険会社3社(太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の単純合算

2022年3月期第3四半期決算のポイント	P. 3
1. T&D保険グループ決算の概況	P. 5
2. 国内生命保険事業	P. 8
3. 事業ポートフォリオの多様化	P. 14
4. 2022年3月期 通期業績予想・株主還元	P. 16

2022年3月期第3四半期決算のポイント

1. T&D保険グループ決算の概況

- ・グループ修正利益※は、国内生命保険事業が堅調に推移したことにより、計画を上回って進捗し、前年同期から増加。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、T&Dユナイテッドキャピタルを通じて関連会社化したフォーティテュード社における米国金利上昇による会計上の一時的な評価性損失等の発生に伴い、前年同期から減少したものの、国内生命保険事業では前年同期から増加。
- ・Group MCEVは、新契約価値の積み上げや外国証券の時価上昇等により前期末から増加。

※ グループ修正利益は、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

2. 国内生命保険事業

- ・保障ニーズの高まりに対応した対面・非対面を融合した営業の定着等により、契約業績は堅調。当グループの主要経営指標である新契約価値※および新契約年換算保険料とも、前年同期から増加。
- ・3社合算の基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加等により、前年同期から増加。

※ 新契約価値は、当期中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものの。

3. 事業ポートフォリオの多様化

- ・フォーティテュード社において、米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等が発生したものの、修正利益は計画を上回って進捗。

4. 通期業績予想・株主還元

- ・主に、太陽生命が再保険取引を新たに実施することによる再保険コスト等の発生見込みおよびフォーティテュード社に係る持分法投資損益の上振れ(運用収支の好調、評価性損失の縮減等によるもの)を反映し、通期連結業績予想を修正。
- ・1株当たり年間配当金予想の修正はありません。

2022年3月期第3四半期決算のポイント

1. T&D保険グループ決算の概況^{※1}

	2021/3期 3Q累計	2022/3期 3Q累計	前年同期比
経常収益	17,235 億円	16,861 億円	△ 2.2 %
経常利益	1,913 億円	1,069 億円	△ 44.1 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,409 億円	542 億円	△ 61.5 %
グループ修正利益 ^{※2}	603 億円	848 億円	+40.6 %

	2021/3末	2021/12末	前期末差
Group MCEV	33,776 億円	35,606 億円	+1,830 億円

2. 国内生命保険事業(3社合算)

	2021/3期 3Q累計	2022/3期 3Q累計	前年同期差
新契約価値	1,088 億円	1,254 億円	+166 億円

	2021/3期 3Q累計	2022/3期 3Q累計	前年同期比
新契約年換算保険料	804 億円	938 億円	+16.6 %

	2021/3末	2021/12末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,354 億円	15,417 億円	+0.4 %

	2021/3期 3Q累計	2022/3期 3Q累計	前年同期比
修正利益 ^{※2}	511 億円	718 億円	+40.7 %

	2021/3期 3Q累計	2022/3期 3Q累計	前年同期比
基礎利益	1,161 億円	1,376 億円	+18.6 %

3. 事業ポートフォリオの多様化(生保3社以外)^{※1}

	2021/3期 3Q累計	2022/3期 3Q累計
修正利益 ^{※2} (TDAM・P&F・TDUC(連結)合算)	85 億円	126 億円

TDAM : T&Dアセットマネジメント
P & F : ペット&ファミリー損害保険
TDUC : T&Dユナイテッドキャピタル

4. 2022年3月期 通期業績予想・株主還元^{※1}

2021年11月12日公表の2022年3月期業績予想を次のとおり修正。

	2021/3期 実績	2022/3期 予想	
		前回発表予想	今回発表予想
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,623 億円	360 億円	30 億円
グループ修正利益 ^{※2}	779 億円	930 億円	300 億円

2021年5月14日公表内容から変更ありません。

	2021/3期 実績	2022/3期 予想
1株当たり年間配当金	46.0 円	56.0 円
(うち中間配当)	22.0 円	28.0 円

※1 2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映前の数値。

※2 修正利益
当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

1. T&D保険グループ決算の概況(連結損益)

(単位:億円)

	2021/3期 3Q累計	2022/3期 3Q累計	前年同期比	
経常収益	17,235	16,861	△ 374	△ 2.2%
うち保険料等収入	12,830	13,326	+496	+3.9%
うち資産運用収益	2,911	2,917	+6	+0.2%
うち利息及び配当金等収入	2,090	2,390	+299	+14.3%
うち持分法による投資利益	943	-	△ 943	-
経常費用	15,322	15,792	+469	+3.1%
うち保険金等支払金	9,804	11,065	+1,261	+12.9%
うち責任準備金等繰入額	2,793	1,891	△ 902	△ 32.3%
うち資産運用費用	654	447	△ 207	△ 31.7%
うち持分法による投資損失	-	178	+178	-
経常利益	1,913	1,069	△ 844	△ 44.1%
特別損益	△ 98	△ 70	+28	-
契約者配当準備金繰入額	177	174	△ 2	△ 1.5%
税金等調整前四半期純利益	1,637	824	△ 813	△ 49.6%
法人税等合計	227	281	+53	+23.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,409	542	△ 867	△ 61.5%
グループ修正利益	603	848	+244	+40.6%

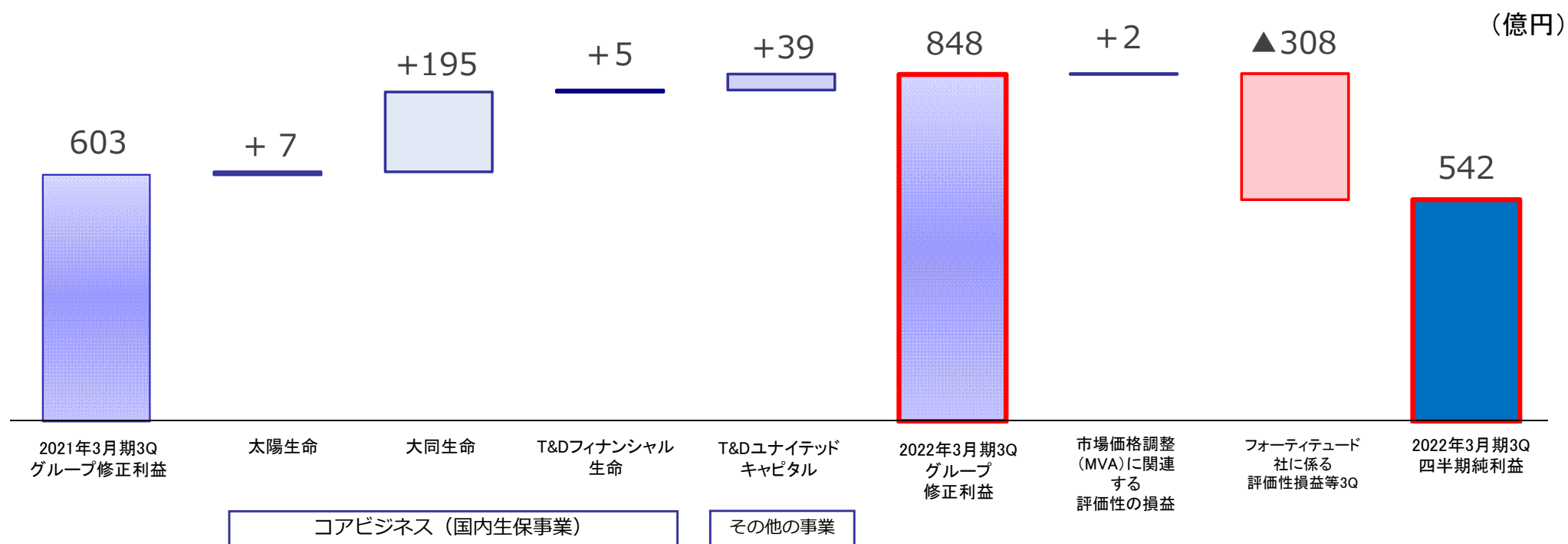
<主な増減要因>

- ① 新契約の増加等による
- ② 主に外国証券利息配当金の増加による
- ③⑦ フォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損益等による
- ④⑤ 満期保険金の増加等による
- ⑥ 金融派生商品費用の減少(為替ヘッジコストの低下等)による

当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

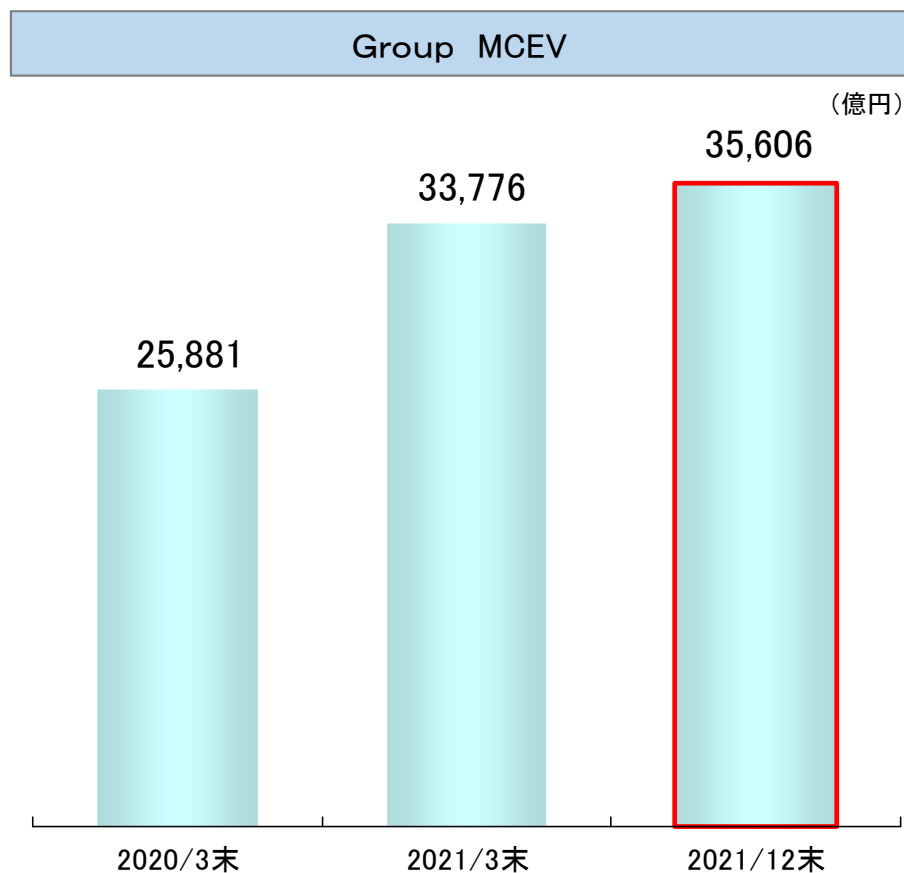
1. T&D保険グループ決算の概況(グループ修正利益)

グループ修正利益の増減内訳と親会社株主に帰属する四半期純利益との差異



- グループ修正利益は、国内生保事業が堅調に推移したことにより前年同期から増加。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、フォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失等の発生に伴い前年同期から減少。

1. T&D保険グループ決算の概況 (MCEV [概算値])



(単位: 億円)

	2021/12末	前期末差
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	35,606	+1,830
生命保険事業のMCEV	34,419	+1,899
うち太陽生命	11,454	+307
うち大同生命	21,386	+797
うちT&Dフィナンシャル生命	1,155	+73
生命保険以外の事業に係る純資産	1,186	△ 68

- * 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV(エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。
- * 生命保険以外の事業に係る純資産の前期末差(△68億円)には、フォーティテュード社に係る会計上の一時的な評価性損失等(△308億円)を含んでいます。

2. 国内生命保険事業(新契約・保有契約の状況)

■ 新契約の状況

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2022/3期 3Q累計	前年同期差	2022/3期 3Q累計	前年同期差	2022/3期 3Q累計	前年同期差	2022/3期 3Q累計	前年同期差
新契約価値	390	+28	836	+118	28	+19	1,254	+166

* 新契約価値は、当期中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものです。

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2022/3期 3Q累計	前年同期比	2022/3期 3Q累計	前年同期比	2022/3期 3Q累計	前年同期比	2022/3期 3Q累計	前年同期比
新契約年換算保険料	253	+10 (+4.2%)	484	+84 (+21.2%)	200	+38 (+23.8%)	938	+133 (+16.6%)
うち第三分野	142	+12 (+9.7%)	124	+13 (+12.4%)	5	+2 (+104.2%)	272	+29 (+12.0%)

* 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

■ 保有契約の状況

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2021/12末	前期末比	2021/12末	前期末比	2021/12末	前期末比	2021/12末	前期末比
保有契約年換算保険料	5,802	△ 94 (△ 1.6%)	8,014	+35 (+0.5%)	1,601	+122 (+8.3%)	15,417	+63 (+0.4%)
うち第三分野	1,254	+45 (+3.7%)	1,464	+29 (+2.0%)	33	+3 (+12.6%)	2,752	+78 (+2.9%)

2. 国内生命保険事業(損益関係)

(単位:億円)

	太陽生命			大同生命			T&Dフィナンシャル生命			3社合算		
	2022/3期 3Q累計	前年同期比		2022/3期 3Q累計	前年同期比		2022/3期 3Q累計	前年同期比		2022/3期 3Q累計	前年同期比	
経常収益	6,519	+594	+10.0%	7,624	+140	+1.9%	3,073	+362	+13.4%	17,216	+1,096	+6.8%
うち保険料等収入	4,643	△ 25	△ 0.5%	5,955	+10	+0.2%	2,665	+502	+23.2%	13,264	+488	+3.8%
うち資産運用収益	1,184	+11	+1.0%	1,378	+64	+4.9%	370	△ 125	△ 25.2%	2,934	△ 49	△ 1.7%
うち利息及び配当金等収入	1,106	+40	+3.8%	1,246	+264	+26.9%	50	△ 3	△ 6.4%	2,403	+301	+14.3%
経常費用	6,216	+590	+10.5%	6,680	△ 98	△ 1.5%	3,061	+317	+11.6%	15,958	+809	+5.3%
うち保険金等支払金	5,217	+758	+17.0%	3,885	+81	+2.1%	1,924	+414	+27.4%	11,027	+1,254	+12.8%
うち責任準備金等繰入額	0	△ 132	△ 100.0%	1,540	△ 47	△ 3.0%	952	△ 118	△ 11.0%	2,492	△ 298	△ 10.7%
うち資産運用費用	217	△ 59	△ 21.4%	227	△ 208	△ 47.8%	3	+2	+287.3%	447	△ 264	△ 37.1%
経常利益	303	+3	+1.3%	943	+238	+33.9%	11	+44	-	1,258	+286	+29.5%
特別損益	△ 27	+5	-	△ 35	+23	-	△ 7	△ 0	-	△ 69	+28	-
契約者配当準備金繰入額	92	+0	+0.6%	81	△ 3	△ 3.8%	0	△ 0	△ 95.8%	174	△ 2	△ 1.5%
税引前四半期純利益	182	+8	+4.9%	825	+265	+47.4%	4	+43	-	1,013	+317	+45.7%
法人税等合計	51	+1	+3.0%	237	+70	+42.0%	3	+13	-	291	+85	+41.4%
四半期純利益	131	+7	+5.7%	588	+195	+49.7%	1	+29	-	721	+232	+47.6%
修正利益	131	+7	+5.7%	588	+195	+49.7%	△ 0	+5	-	718	+207	+40.7%
基礎利益	410	+16	+4.3%	994	+211	+27.0%	△ 28	△ 12	-	1,376	+215	+18.6%

* T&Dフィナンシャル生命の修正利益は、四半期純利益から市場価格調整(MVA)に関連する評価性の損益を調整して算出しています。

2. 国内生命保険事業(健全性指標等)

■ ソルベンシー・マージン比率

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		T&Dホールディングス連結(参考)	
	2021/12末	前期末差	2021/12末	前期末差	2021/12末	前期末差	2021/12末	前期末差
ソルベンシー・マージン比率	851.7%	1.1pt低下	1,244.7%	48.8pt低下	850.7%	23.9pt上昇	1,096.8%	2.0pt上昇

■ 実質純資産

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		T&Dホールディングス連結(参考)	
	2021/12末	前期末差	2021/12末	前期末差	2021/12末	前期末差	2021/12末	前期末差
実質純資産	11,159	△ 383	17,352	+494	2,015	+86	32,385	+863

■ 有価証券等の差損益(一般勘定)

(単位:億円)

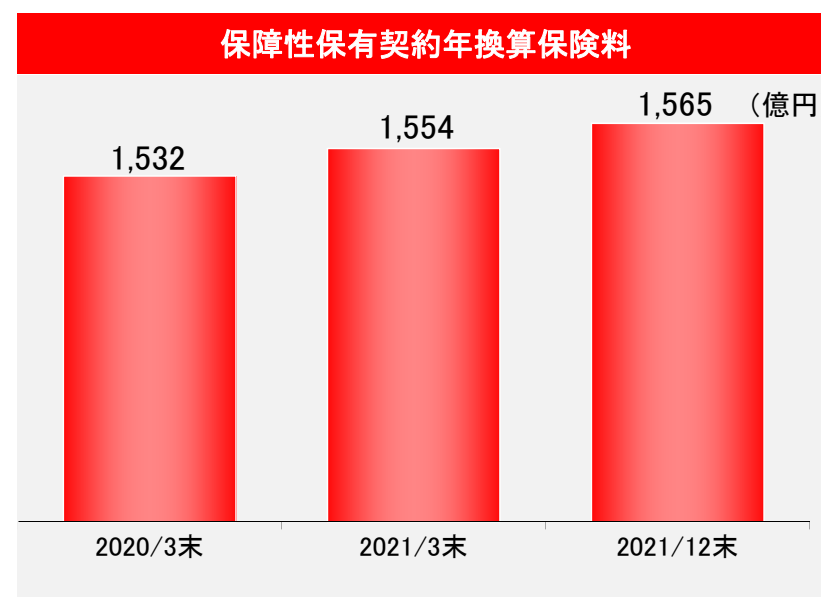
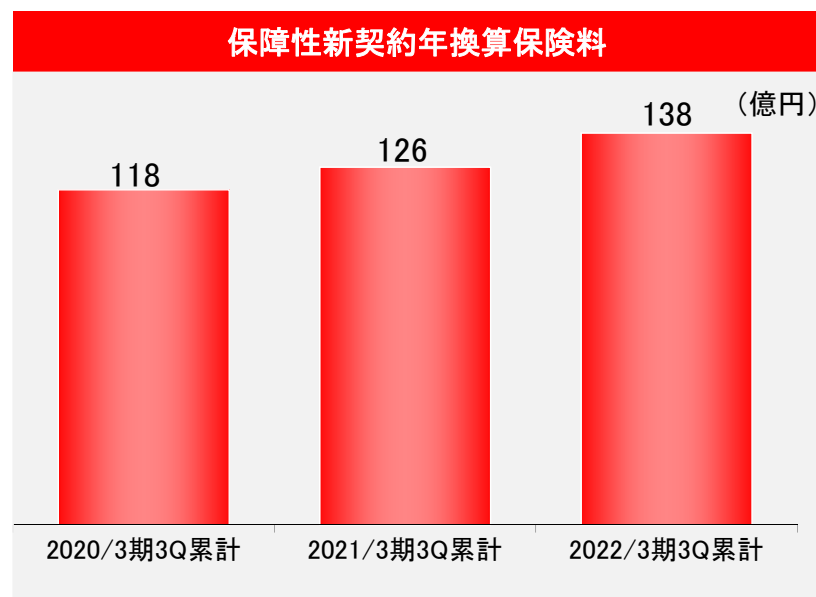
	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2021/12末	前期末差	2021/12末	前期末差	2021/12末	前期末差	2021/12末	前期末差
有価証券の差損益	5,980	△ 110	6,410	+398	1,153	+77	13,544	+366
うち公社債	2,753	△ 111	2,413	△ 104	532	△ 26	5,699	△ 243
うち株式	996	△ 317	1,815	+8	-	-	2,812	△ 309
うち外国証券	1,915	+342	1,716	+424	4	△ 6	3,636	+761
土地等の差損益	624	△ 1	790	+7	-	-	1,415	+6

* 有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合等は除いています。

* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しています。

【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- 「感染症プラス入院一時金保険」の販売が引き続き好調。保障性保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 保障性新契約年換算保険料は、ウィズコロナ時代に対応した営業活動の推進、「感染症プラス入院一時金保険」や「ガン・重大疾病予防保険」の販売好調が継続したことにより、前年同期から9.1%の増加。なお、「感染症プラス入院一時金保険」については、2021年12月に累計販売件数が20万件を超えており、過去10年間で販売した商品のなかで最も早いペースで推移。
- 保障性保有契約年換算保険料は、入院一時金保険など第三分野商品の販売堅調により、前年度末から0.7%の増加。

※ 保障性年換算保険料(太陽生命独自の指標)とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。同指標の伸展は「EVの伸展」に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標。

- ・ 2021年10月、お客様専用インターネットサービス「太陽生命マイページ」の利用対象者の範囲について、国内主要生保で初めて(*1)ご契約者様だけでなく被保険者様(*2)も利用できるように拡大。これにより、被保険者様も「太陽生命マイページ」を利用することで給付金のご請求手続きが最短10分で完了>(*3)
- ・ 2021年11月、「選択緩和型手術保障保険」の発売に加え、選択緩和型保険における削減期間の廃止および入院一時金保険等の加入限度額拡大の商品改定を実施し、健康状態に不安がある方にも充実した医療保障を提供。

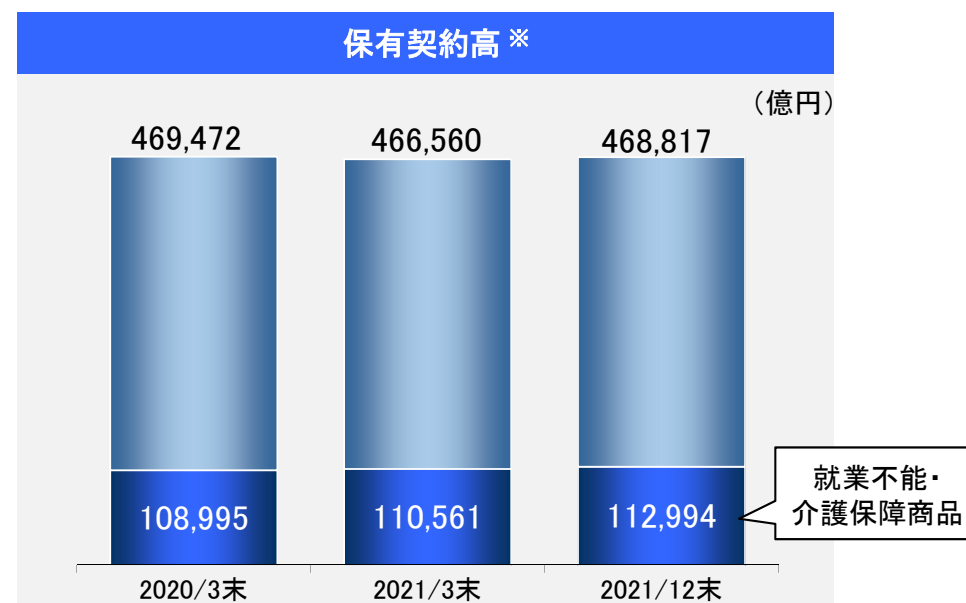
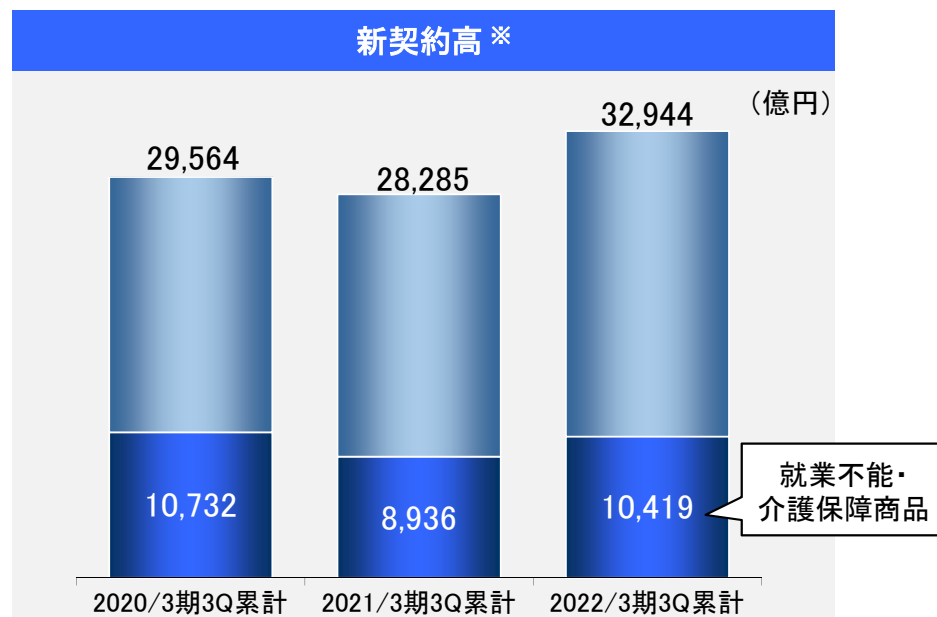
*1: 国内漢字生命保険会社9社において被保険者様が「マイページ」サービスをご利用できるのは初となります(2021年10月7日時点において太陽生命調べ)。

*2: 「契約者≠被保険者」のご契約形態の被保険者様(成年者)。なお、契約内容、年齢等により、利用対象者になれない場合があります。

*3: 請求内容や受付の状況等により異なります。

【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 第2四半期に引き続き、新契約高は堅調に推移し、前年同期に比べ増加。保有契約高は前年度末から純増。



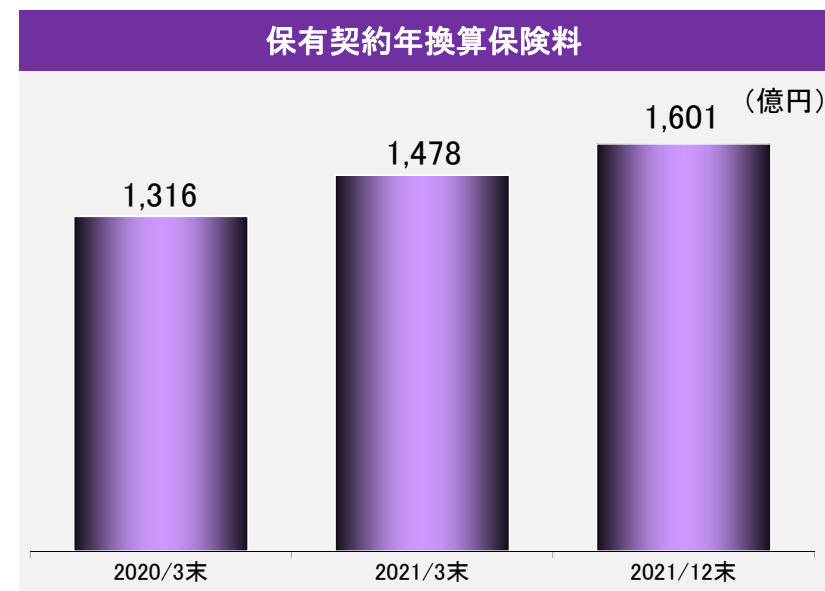
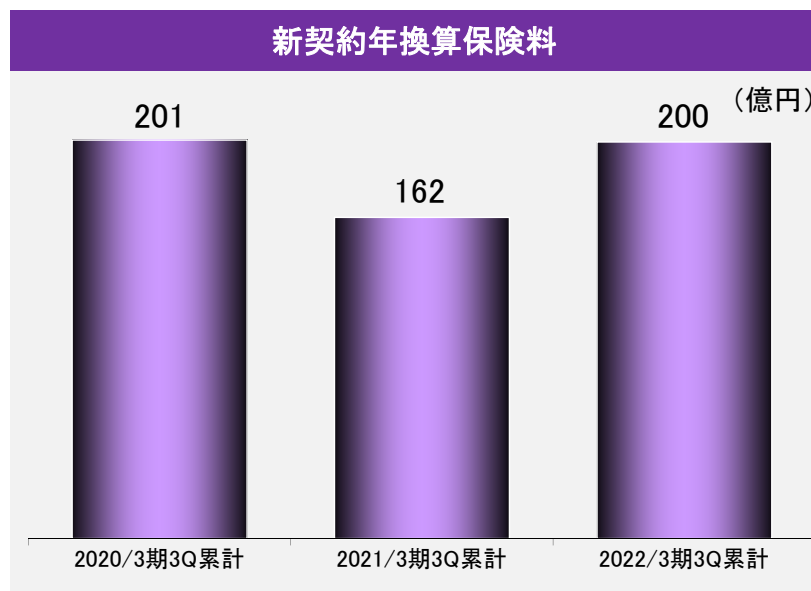
- 対面・非対面を組み合わせたコンサルティング営業の実践等により、コロナ禍で高まっているお客さまの保障ニーズに対する確にお応えしたことで、主力である定期保険、特にオーダーメイド型商品(αシリーズ)の販売が堅調に推移。
- また、「がんステージ限定型Jタイプ」(2020年12月発売)の販売が堅調に推移したこと等により、「就業不能・介護保障商品」の新契約高も前年同期から増加。
- 新契約高が堅調に推移したことにより、保有契約高は前年度末から純増。

- ・ Web会議システムを活用して医師の診査を行う「リモート診査」(2021年4月)、非対面で「告知+尿検査」を行う「かんたんセルフ」(2021年6月)を実施。また、「法人契約では業界初」となる、すべての保険加入手続でのリモート化を実現(2021年10月)。
- ・ 中小企業のサステナビリティ経営を後押しするプログラム「DAIDO Sustainability INITIATIVE」(ダイドウ・サステナビリティ・イニシアティブ)を開始(2021年10月)。

※ 当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフα」等の介護保険金額を含みます。

【参考】T&Dフィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 新契約年換算保険料は順調に推移。保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 新契約年換算保険料は200億円、前年同期から23.8%増加。コロナの感染状況等に応じて対面・非対面での研修の実施や海外金利の上昇による商品の魅力向上等により、募集代理店での当社商品の認知度がさらに向上したため、一時払終身保険「生涯プレミアムワールド5」を中心に販売が順調に推移。
- 保有契約年換算保険料は1,601億円、前年度末から8.3%の増加。

- ・ 人生100年時代の自助努力による資産形成をサポートする「ハイブリッドシリーズ」は、「投資信託」と「生命保険」を融合した変額保険。2021年6月販売開始の「ハイブリッド アセット ライフ」、2021年12月販売開始の「ハイブリッド あんしん ライフ」に加え、2022年4月より「ハイブリッド つみたて ライフ」を販売開始。マーケット環境が不透明な中でも、シリーズ3商品で資産形成層から高齢層まで幅広くカバーし、お客さまの保障ニーズやリスク許容度に応じた設計も可能な商品を提供していく。
- ・ 2021年2月販売開始の就業不能保険「働くあなたにやさしい保険2」は、三大疾病やケガによる継続的な収入減少に備える「年金コース」と三大疾病による治療費などの一時的な支出増加に備える「一時金コース」の2つのコースから選択できる商品であり、販売は順調に推移。

3. 事業ポートフォリオの多様化(T&Dユナイテッドキャピタル)

■ T&Dユナイテッドキャピタル(連結)の状況

(単位: 億円)

	2021/3期 3Q累計	2022/3期 3Q累計	前年同期差
経常収益	944	0	△ 943
うち持分法による投資利益	943	-	△ 943
経常費用	12	196	+184
うち持分法による投資損失	-	179	+179
経常利益	931	△ 196	△ 1,127
四半期純利益 (△は純損失)	915	△ 182	△ 1,097
修正利益	86	126	+39

- 四半期純利益は、米国再保険持株会社フォーティテュード社の米国金利上昇に伴う一時的な評価性損失等により、△182億円と前年同期から減少。
一時的な評価性損失等を除いた修正利益では、同社における運用収支が好調であったこと等により、126億円と前年同期から増加。
- フォーティテュード社の第4四半期(2021年10～12月)に係る持分法投資損益として当社第4四半期(1～3月期)に110億円程度を計上見込み。グループ修正利益への影響額は60億円程度の見込み。

3. 事業ポートフォリオの多様化(アセットマネジメント事業・損害保険事業)

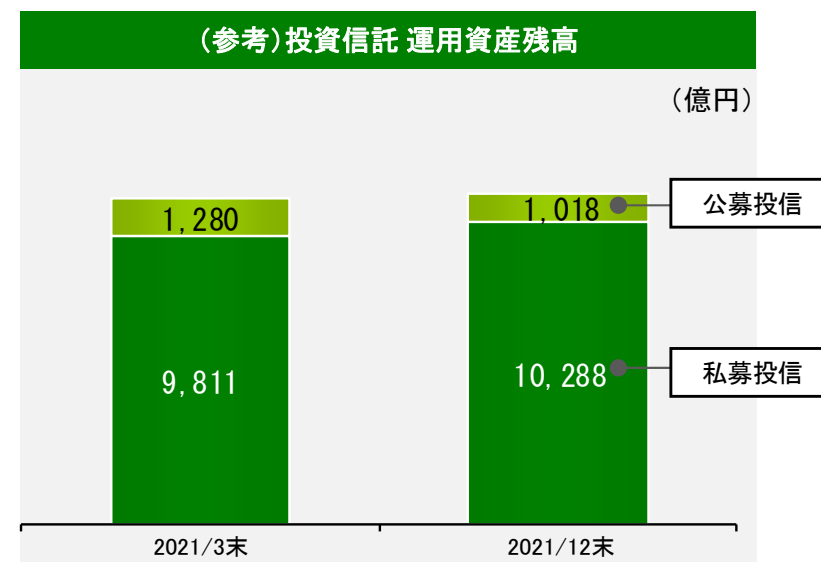
■ T&Dアセットマネジメントの状況

(単位:百万円)

	2022/3期 3Q累計	前年同期差
営業収益(実質ベース)*	2,151	△ 159
経常利益	130	+27
四半期純利益	93	+32

私募投信は残高が前期末から増加したものの、公募投信が減少したことから営業収益は前年同期から減少。四半期純利益は、人件費等の費用が減少したこともあり、前年同期から増加。

*販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入。

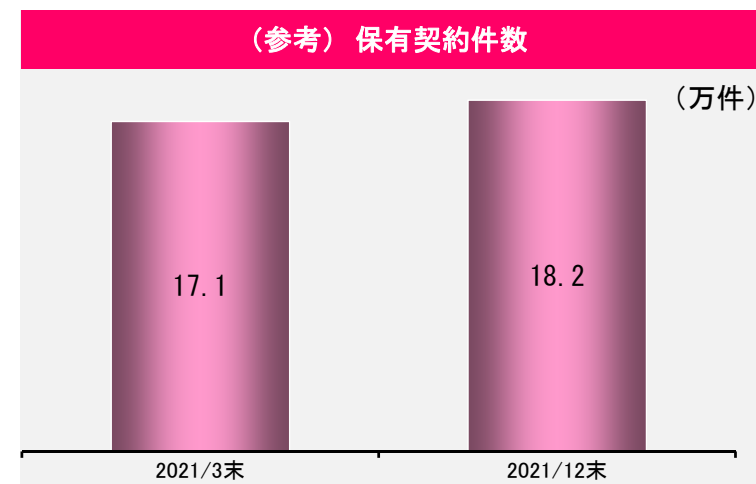


■ ペット&ファミリー損害保険の状況

(単位:百万円)

	2022/3期 3Q累計	前年同期差
経常収益	6,239	+825
経常損益	△ 15	+219
四半期純損益	△ 15	+163

四半期純利益は保険金支払いが増加した影響により純損失となったものの、保有契約件数の堅調な増加に伴う収入保険料の増加により、前年同期から改善。



4. 2022年3月期 通期業績予想・株主還元

■ 2022年3月期 通期業績予想(T&Dホールディングス連結)

2021年11月12日公表の2022年3月期通期業績予想を次のとおり修正。

(単位:億円)

	2021年3月期実績	2022年3月期予想		
		前回発表予想	今回発表予想	増減額
経常収益	24,139	21,550	23,650	+ 2,100
経常利益	2,281	990	410	△ 580
親会社株主に帰属する当期純利益	1,623	360	30	△ 330
グループ修正利益	779	930	300	△ 630

■ 主な修正理由

- ・太陽生命が個人年金保険既契約ブロックの再保険取引を新たに実施することによる再保険コスト等の発生が見込まれること。
なお、当再保険取引の実施により、2023年3月期の予定利息負担額250億円程度の軽減を見込む。
- ・米国再保険関連会社フォーティテュード社に係る持分法投資損益が、運用収支の好調、評価性損失の縮減(米国金利が想定(2021年3月末水準)を下回ったことによる)等により想定を上回ったこと。

■ 1株当たり年間配当金

2021年5月14日公表内容から変更ありません。

	2021年3月期実績	2022年3月期予想
1株当たり年間配当金	46.0円(うち中間配当22.0円)	56.0円(うち中間配当28.0円)

* 通期業績予想の修正・太陽生命の既契約ブロックの出再については、本日公表のニュースリリースをご参照ください。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報課 井本・山本	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課 貴志	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課 筑摩	TEL 03-3272-6206
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課 高橋	TEL 03-6745-6808